

「地域で学ぶ、地域を学ぶ」高等部作業学習製品販売会を開催しました！

「あじさい釉づくり」



「雲昌寺の作業学習製品販売」



「道の駅おが オガーレでの販売」



「県立大学秋田キャンパス売店への納品」

7月11日梅雨晴れの中、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と、作業学習製品の販売をする高等部の生徒たちの元気な声が「道の駅おが オガーレ」と男鹿市にある「雲昌寺」に響き渡りました。

雲昌寺での販売会は、今年で4年目を迎えました。地域で定期的に行われる販売会は、日々生徒が作っている作業学習製品への地域の方の生の声（評価）を聞くことができる貴重な学習の機会でもあります。製品を買ってくださったお客さんに生徒がインタビューも行いました。「初めて買いましたが、どの製品も素敵です」「あじさいをモチーフにした製品が特にいいです」などのうれしい言葉や「秋田杉のお箸はいろいろな長さのものがあるととっても良い」など製品の改良につながる貴重な意見を聞くことができました。

高等部生が作る作業学習製品の中には、雲昌寺のあじさいをモチーフにした木製品や布製品、陶製品があります。剪定したあじさいの枝を灰にして自分たちで作ったオリジナル釉薬で色付けして仕上げた陶芸皿は、淡い色合いが趣ある仕上がりの人気製品です。

この日は、県立大学秋田キャンパス売店への作業学習製品の納品も行いました。